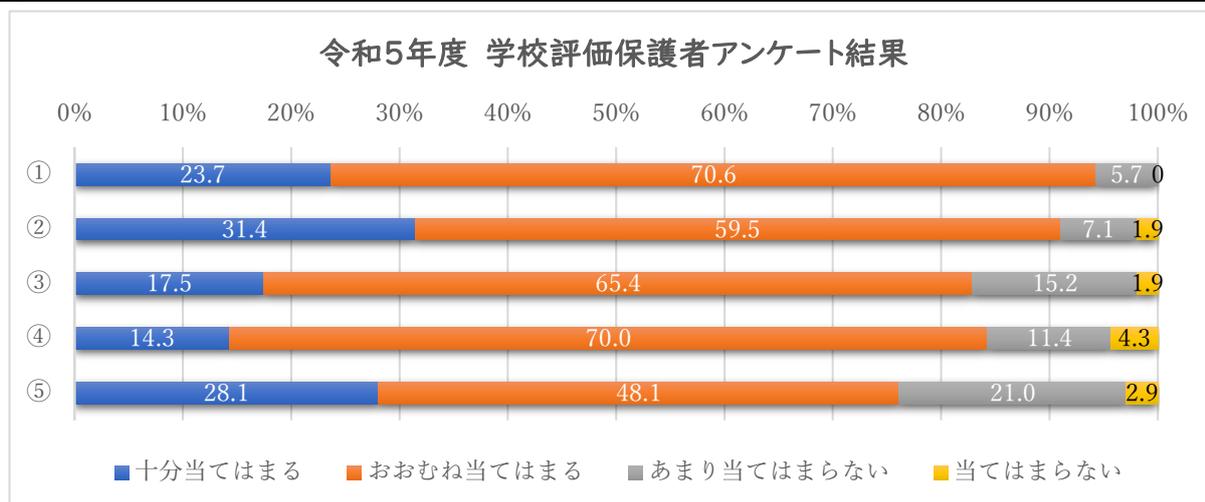


令和5年度 学校評価 保護者アンケート結果

項目
① 学校は保護者会などで、教育方針の説明をわかりやすく行っている。
② 学校からのだよりや、ホームページ等を通して、学校・学年・学級での生徒の様子をわかりやすく伝えている。
③ 学校は生徒のことで家庭と連携をとっている。
④ 学校は生徒の悩みや問題に適切に対応している。
⑤ 生徒は学校生活の様子を家庭で話をしている。



1 学校の説明責任と広報活動の視点（①・②の結果から）

①・②の結果を見ると、学校の考え方や情報については、おおむね提供できていると評価をいただきました。「わかりやすく伝える」ということは、常日頃心がけていかなければならない視点であると考えています。伝達の方法について、メールやホームページに添付してほしいとのご意見もいただいておりますが、発達段階の成長過程で、お子様からの手渡しの行為は重要と考えております。そういう力が自立につながる力です。4月から新たなメールシステムにより文書の添付配信が可能になるため、通知文は配布とメールの両面を利用してまいります。また、ホームページについては、専門の担当職員がおりません。学校も欠員がいる中で業務になっておりますので、配信にムラがあることはご理解いただきたいと存じます。

令和5年度は、保護者会は対面を基本とし、全体会にて校長から一本化して伝えるようにしてきました。教育活動の変更が多くなり、例年通りの方法で進められなくなってきております。

次年度も書面や保護者会を活用しながら情報提供に努めてまいります。

2 生徒の健全育成のための連携について（③・④の結果から）

③・④の結果から生徒との信頼関係づくりは欠かせない努力であり、今後も教職員が連携を取りながら連絡・相談業務にあたってまいります。学校・家庭、生徒・先生等の双方向からの関わりが大切になってくる項目です。一方通行にならないよう研修を積み工夫していきたいと思っております。

また、この分野について、教職員、授業・テスト、部活動、施設、学校生活上の事柄について、様々なご意見をいただきました。学校でも教職員と実状を共有しております。次年度の準備をしっかりと進めてまいります。

3 学校生活の話題性について（⑤の結果から）

学校では、学校生活の様子が家庭でも話題になることを願っています。お子様にとって話を聞いてほしいという思いは、発達上中学校期に強く表れ、必要な時期でもあります。是非、今後ともご家庭での会話が進みますようご協力よろしくお願いいたします。

令和5年度も厳しいご意見を多々いただきました。お子様の健やかな心身の成長のため、次年度も教職員一丸となって取り組んでまいります。ありがとうございました。